

ENCYCLOPEDIA OF MENSWEAR,
SEWING AND MAKING PATTERN

メンズ技術大百科

ベーシックパンツ編

SAMPLE

井口喜正 著

この度は、メンズ技術大百科-ベーシックパンツ編-のサンプルをダウンロードして頂き、ありがとうございました。

当サンプルには、ベーシックパンツソーイング工程分析表及び、工程 No.57～No.63 までの合計 7 ページを掲載しています。本編をそのまま抜き出したものである為、ページ数は変更しておりませんのでご了承ください。

少ないページ数ですが、メンズ技術大百科のクオリティを確認する上での参考にしてください。

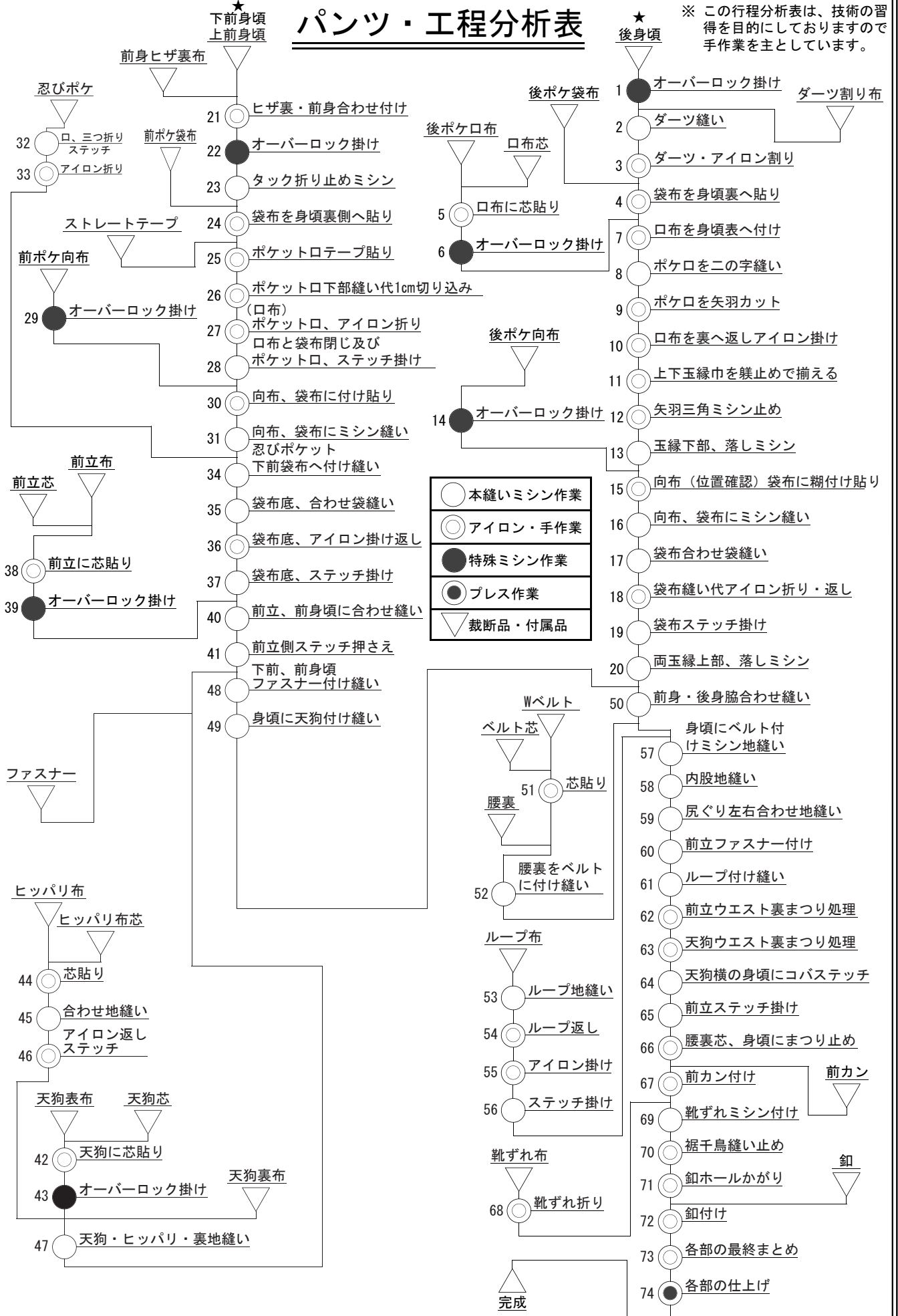
尚、当サンプルに関しては、自由に再配布していただいて構いませんが、著作権は放棄しておりませんので改変はしないようお願いいたします。

それでは、少しの間、メンズ技術大百科にお付き合い下さい。

井口 喜正

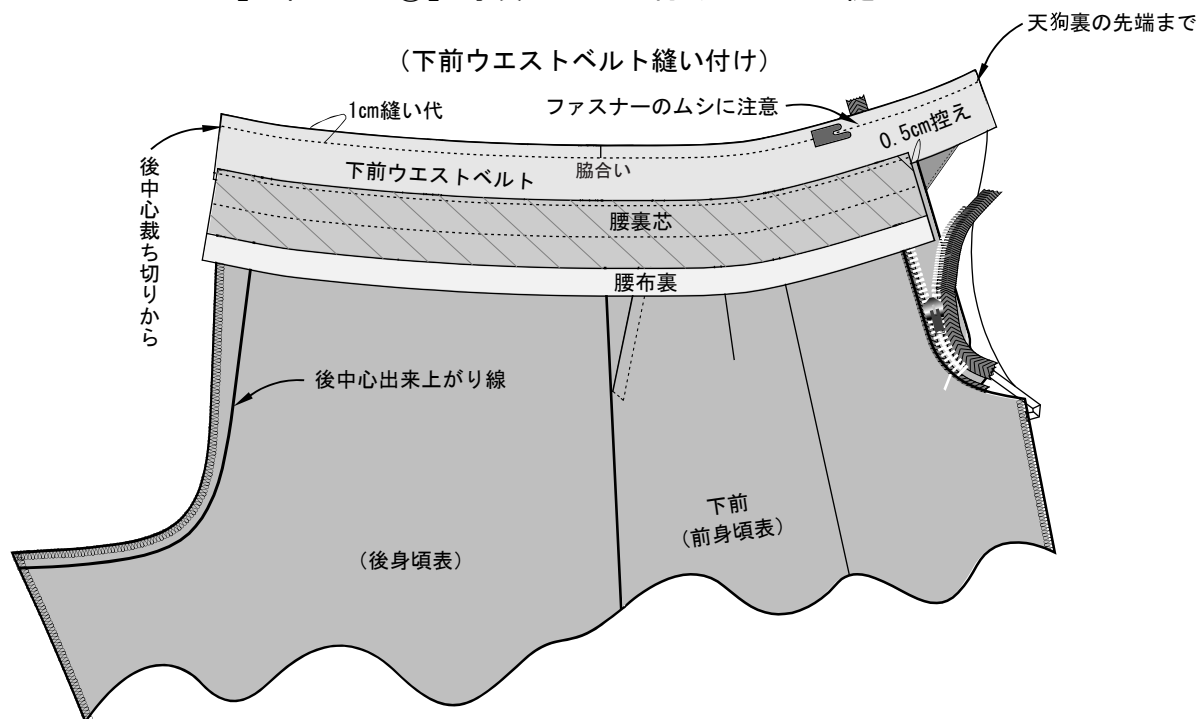
パンツ・工程分析表

※ この行程分析表は、技術の習得を目的としておりますので手作業を主としています。



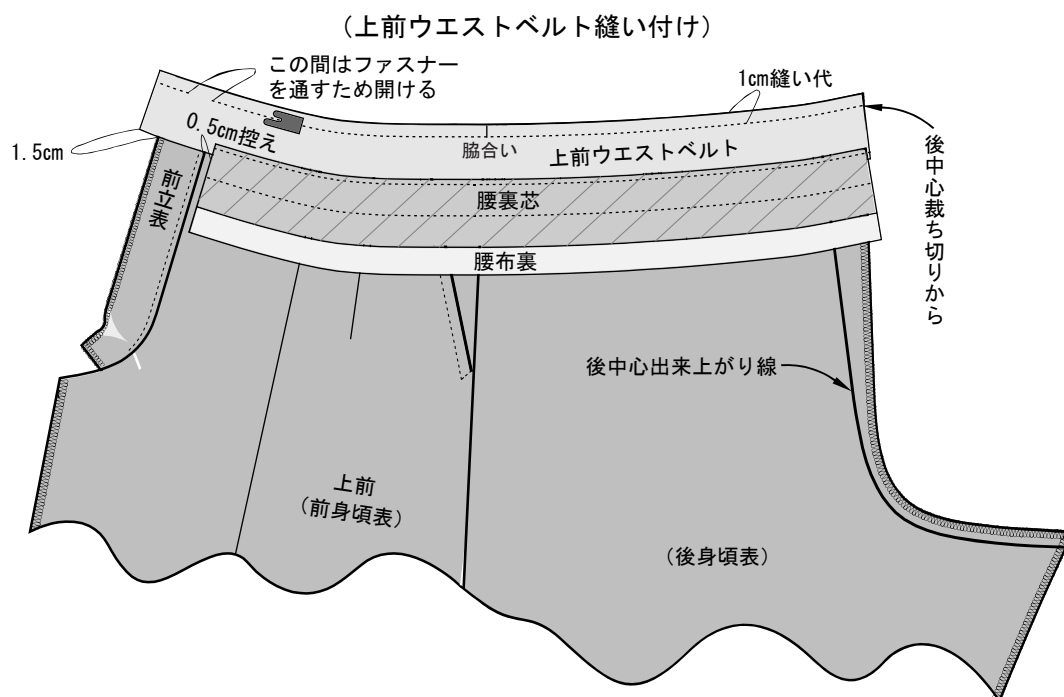
掲載内容の一部または全てを(有)エルミニョンの許可なく、複製、流用、転用及び記載、転売する事を禁じます。

【工程No57-①】身頃にベルト付けミシン地縫い



※ 下前ウエストベルト付けで注意しなければならないことは、ファスナーのムシの箇所を縫う時にミシン目がファスナーのムシに乗らないようにすることです。この部分を縫う際は、ミシンの針で探るようにして縫います。

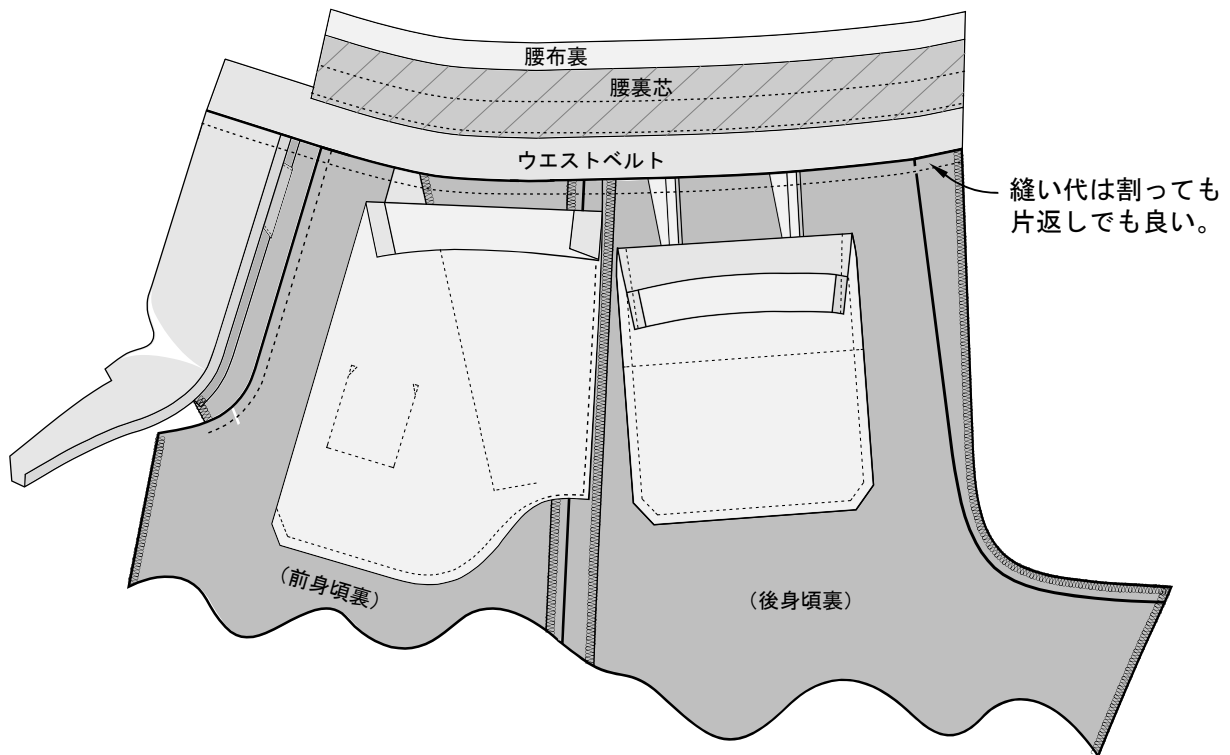
【工程No57-②】身頃にベルト付けミシン地縫い



※ 上前ウエストベルトは、後程ファスナーが身頃とウエストベルトの間に入ります。ファスナーが入る位置を事前に確認し、ファスナーが入る箇所のミシン目を開けて縫って下さい。また、ウエストベルトが付いた状態で腰裏の位置も確認して下さい。

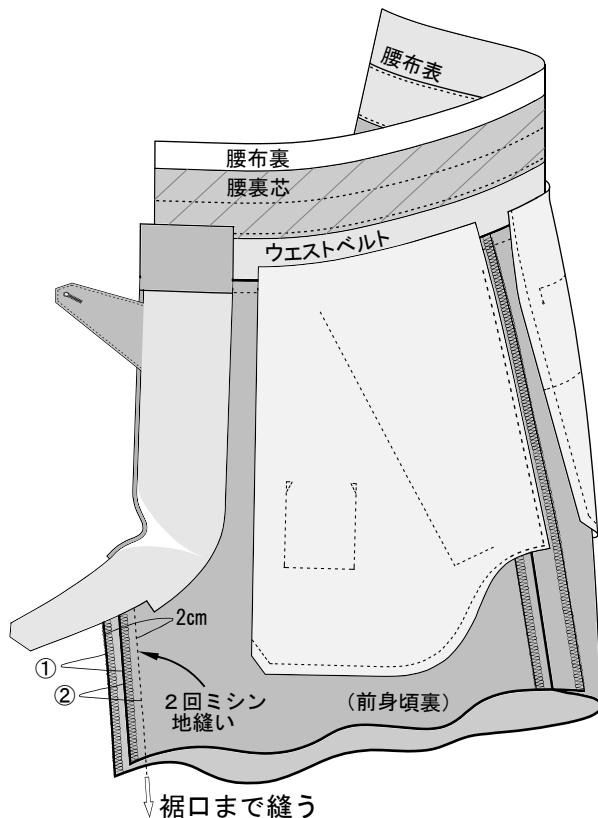
【工程No57-③】身頃にベルト付けミシン地縫い

(ウエストベルト身頃付け縫い代処理)



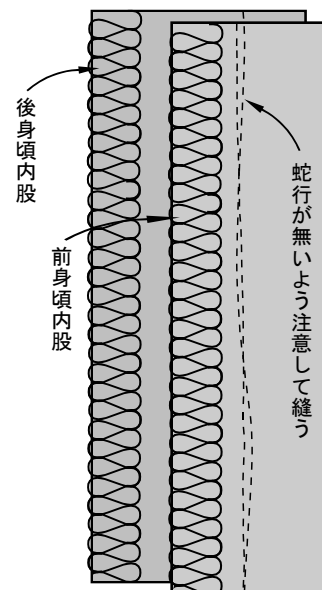
※ 身頃とウエストベルトの縫い代は、アイロンで割っても片返しにしても良いです。但し、生地 of 厚さ及び仕様等を考慮に入れ最善の方法を選んで下さい。

【工程No58-①】内股地縫い



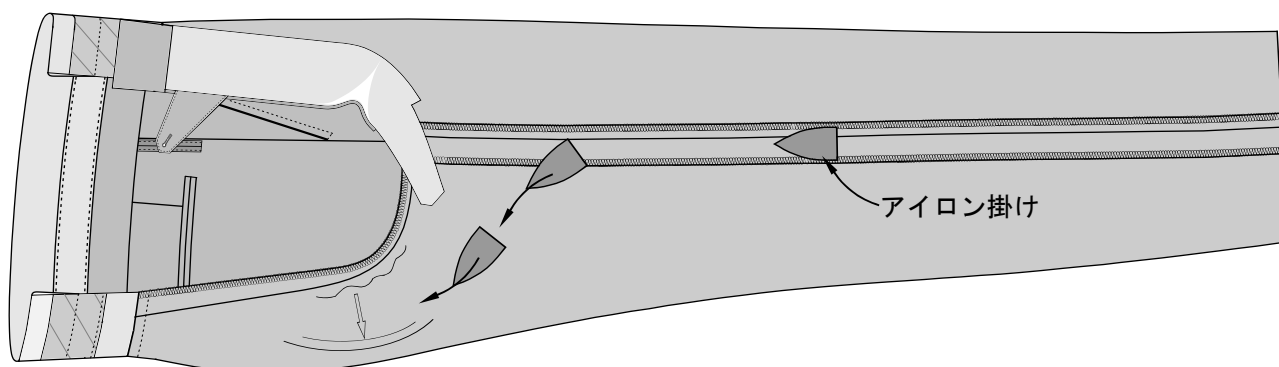
※ ①後身頃の内股縫い代は、1cm余分に縫い代が入っています。②前身頃の縫い代は1cmなので図のようになります。

内股、及び尻グリ地縫い注意事項



※ 内股及び尻グリのよう、2回ミシン地縫いを行う場合は蛇行曲がりや平行地縫いをしてはいけません。必ず最初に掛けたミシン地縫いの上に乘せて一本の線に見えるように掛けて下さい。蛇行縫いや平行縫いを行った場合、縫い代の割りアイロンがきれいに割れません。

【工程No58-②】内股縫い代アイロン割り

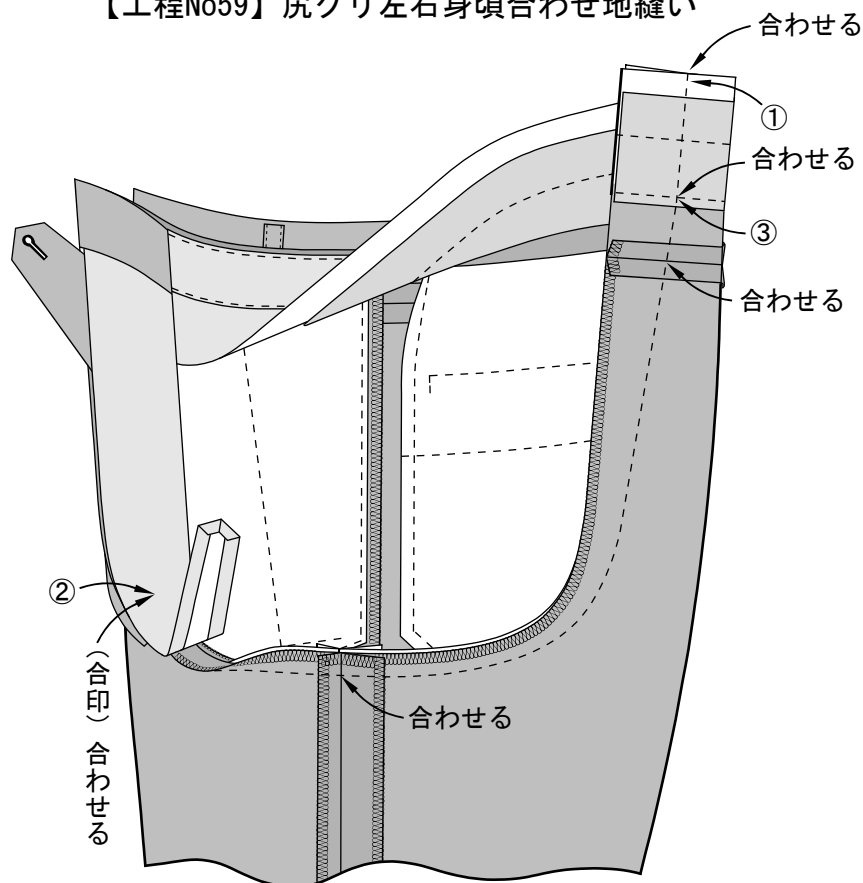


※ 上前身頃・下前身頃は内股縫い代を共にアイロン割りを行って下さい。アイロン割りの際、前センターと後センターにはアイロンを掛けしないで下さい。縫い目を引っぱらずにアイロン処理を行って下さい。また、多少のアイロン処理も兼ねているので、内股縫い目割りが完了したら、アイロンを図の方向へ移動させヒップのボリュームを出すようにし、この反動で尻グリが浮いたらイセ込むようにします。

【工程No59】尻グリ左右身頃合わせ地縫い

【尻グリを縫う前の準備】

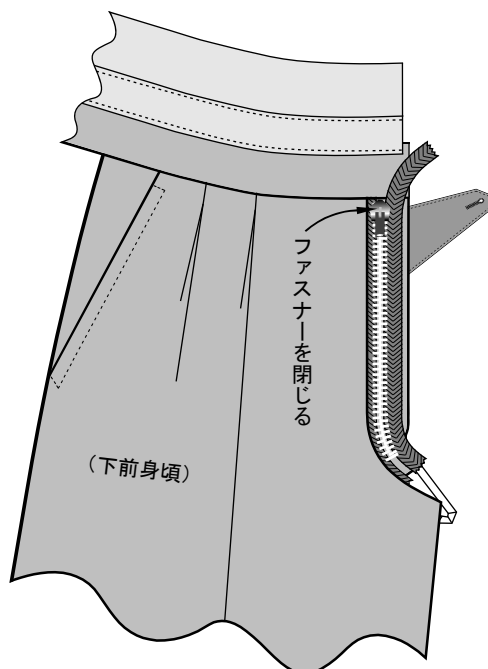
※ 尻グリを縫う前の上前身頃と下前身頃の合わせ方は、上前身頃を返して裏側にし、下前身頃を表側にします。そして下前身頃を、上前身頃に通し、尻グリを合わせ、腰裏の先端、ウエストベルトの縫い目、内股の縫い目、前身頃の小股の合印を合わせて躰系で出来上がりを避けて縫い止めます。特に小股の合印部分は、縫いずれを起こさないよう注意して下さい。また、後中心のウエストベルト等は、左右身頃の縫い目のずれで、出来上がりの巾が一定にならないので注意して下さい。



※ 【尻グリを縫う前の準備】を理解できたら作業にはいります。縫いずれを防ぐ為に図に示している（合わせる）の位置が大切な箇所になります。この部分は躰系で固定することをお奨めします。尻グリ地縫いは、股裂けを防ぐ為にミシン地縫いを2回行います。最初の地縫いは①の腰裏先端から②の小股合印まで、2回目の地縫いは③のウエストベルトから②の小股合印まで縫います。2回目のミシン地縫いを行う際、最初のミシン地縫いの上に乗せて掛けて下さい。後中心の尻グリ縫い後は、アイロン割りをして下さい。

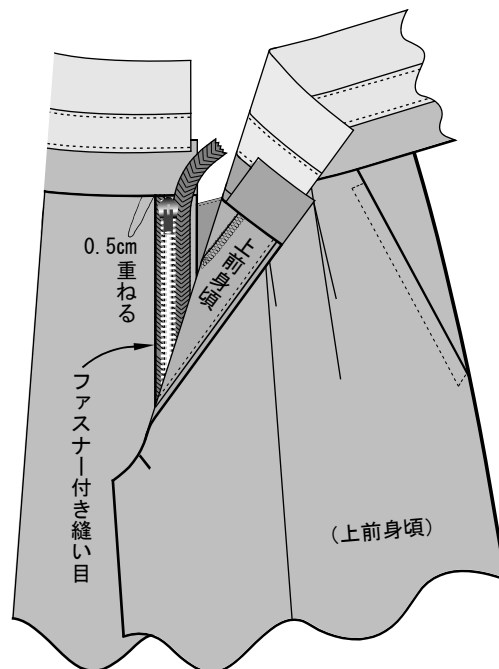
【工程No60-準備】前立ファスナー付け縫い準備

① ファスナーを閉じる



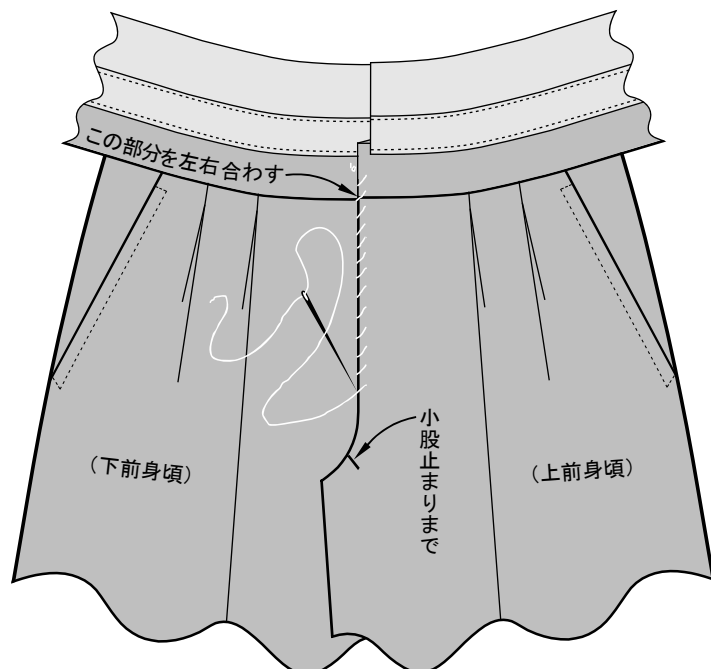
※ 前立ファスナー付け縫いを行う前にファスナーを閉じます。図は簡略していますが、まだ前立にファスナーが付いていない状態です。

② 下前の上に上前を0.5cm重ねる



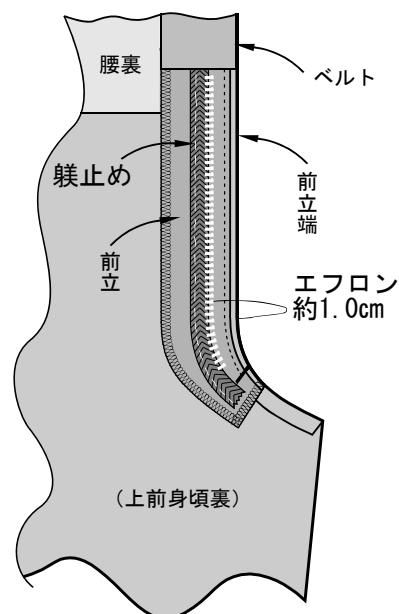
※ 下前ファスナー付き縫い目を0.5cm隠すように上前身頃を重ねます。この重ね量は、パターンの段階で前身頃ウエストへ0.25cm算入した数字が活かされます。

③ 上前センターを襷糸で下前に止める



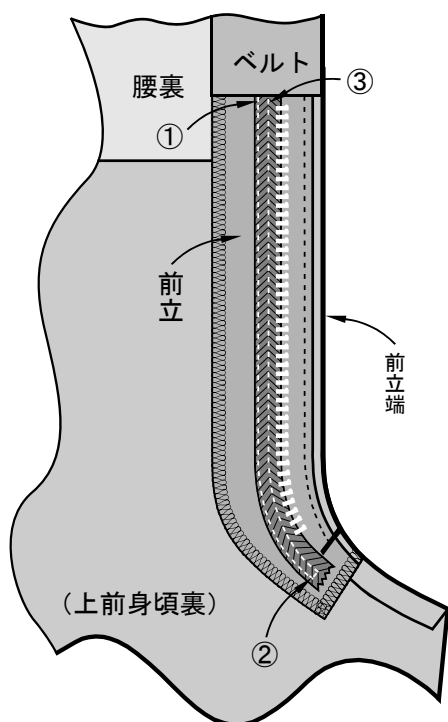
※ 前立センターを襷糸で止めます。この時、身頃とウエストベルトの縫い目の線が左右揃っているか注意して下さい。もし下前身頃より上前身頃が下がっていたら、小股の縫いずれか、ウエストベルト付けの縫い代巾の縫いミスと思われる。

④ 上前立に襷糸で止める



※ ③で前端を襷止めした後は、身頃を裏返しにし、ファスナーを前立のみに襷止めします。襷止めが完了したらファスナーを開き③で行った襷を取ります。現在多くに使用されているエフロンファスナーを例にとると、前立端からのファスナーの入りは約1.0cmです。

【工程No60】前立ファスナー付け



※ ファスナーを前立のみに縫い付けします。この工程では、通常のみシン押さえ金を使用すると押さえ金がファスナーのムシに当たって、とても縫いにくくなります。

この時は紙を使用し、長さ10cmで10mm位の巾に紙を丸めてムシの高さになるよう作り、これを押さえ金の下に敷き移動しながら使用します。それでも縫えない場合は、巾の狭い押さえ金(細押さえ金)が市販されていますので、これを使用することで楽に縫い付けることが出来ます。

※ ①から返し縫いで始め、ファスナーテープの端を②まで縫います。②を角で折り返し、最初の端縫いと平行に③まで縫い、返し縫いで完了です。この後は、ファスナーテープの余りを身頃とベルトの間に差し込み、裏から再度みシン地縫いでファスナーテープを止めて終了です。

【工程No61】ループ付け縫い

① ループ下側を止める

【注意事項】

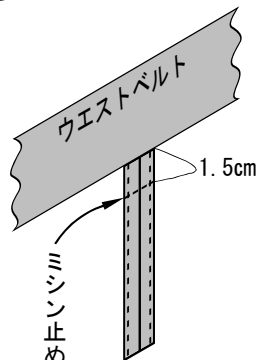
※ ループを付ける際、腰裏は一緒に縫わないでずしておきます。

※ ループ止めみシンは必ず3～4回返して下さい。

※ ループの巾からみシン止めが出ないようにして下さい。

※ 縫い代を間違えるとループの長さが足りなくなります。

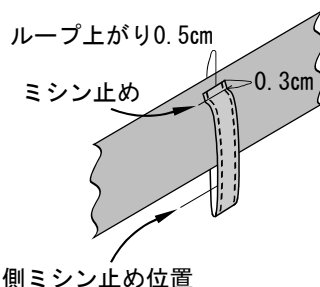
※ 最後に後中心ループを上下S字縫いで止めます。



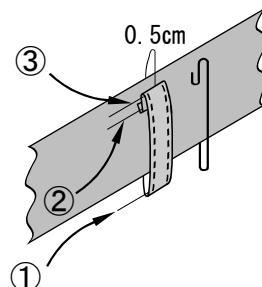
※ ①ウエストベルト下側1.5cmのところを3～4回みシン止めします。

② ループ上部止め

③ ループS字止め

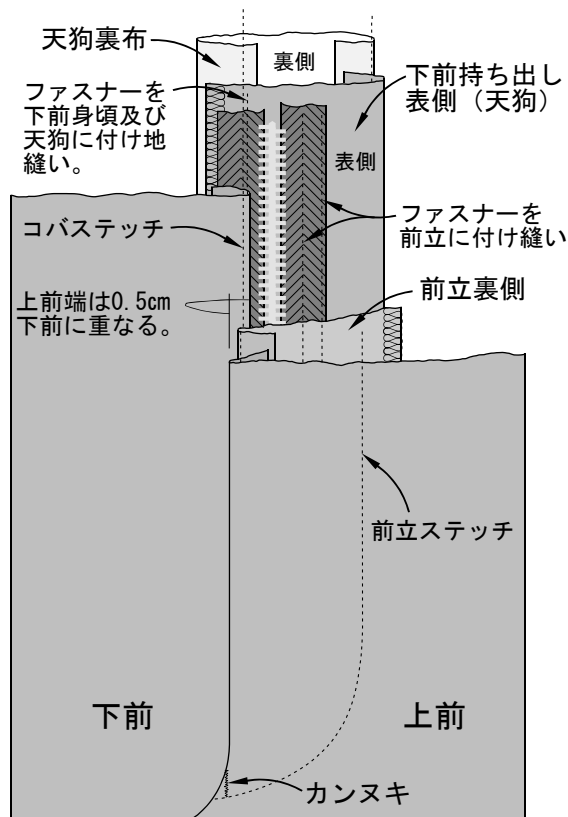


※ 上部出来上がりから1mm控えたところをループの裁ち切りにして3mm巾で3～4回みシン止めします。



※ ループ止め③は非常に難しい作業です。曲がらないようみシン止めを行って下さい。

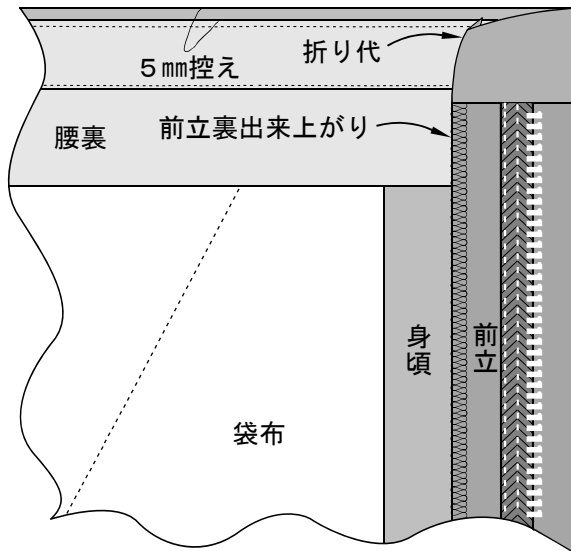
(身頃とファスナーの出来上がり構造)



※ 図は、ファスナーを身頃に付けた状態を表から見た内部構造になります。

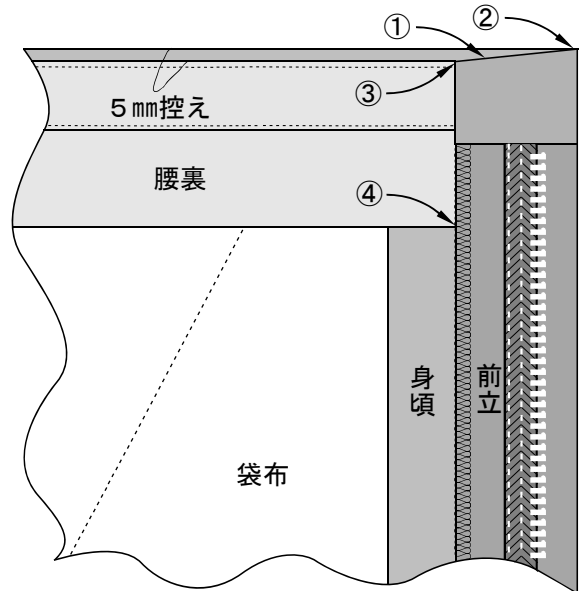
(ウエストベルト前立裏、天狗裏処理)

【工程No62-の準備】 前立ウエスト裏、
折り代処理



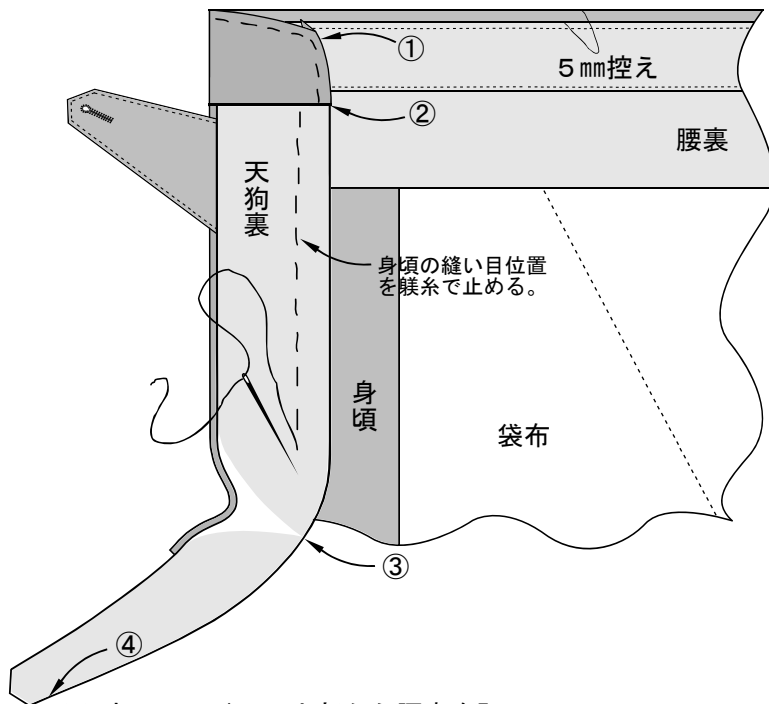
※ ウエストベルト上部から腰裏を5mm控えます。
前立ウエストベルトの折り代を、前立裏出来
上がりに合わせて折ります。

【工程No62】 前立ウエスト
裏まつり処理



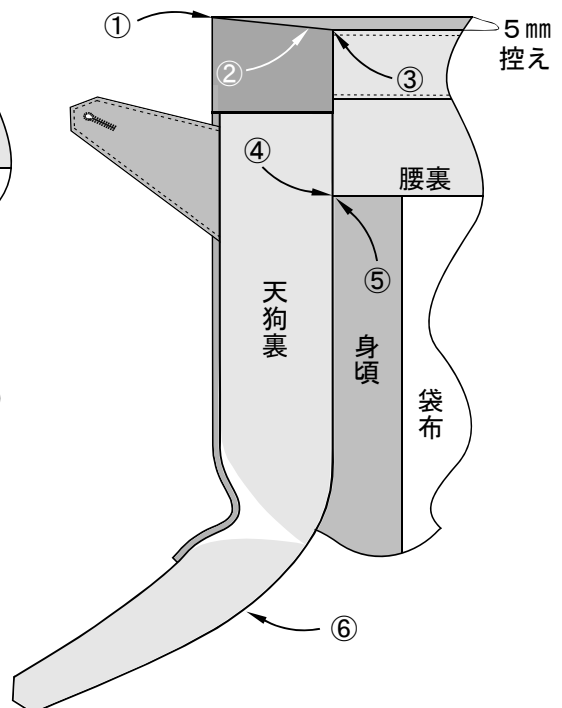
※ ウエストベルト裏側折り返し部分①は、腰裏控
え分5mmを③に合わせます。襷糸で止めてから②
～③を立まつり縫いで止め、③から④の腰裏も
立まつり縫いで止めます。

【工程No63-の準備】 天狗ウエスト裏、
折り代処理



※ ウエストベルト上部から腰裏を5mm
控えます。天狗ウエストベルトの折
り代①と天狗裏②の折り代を身頃縫
い代が2mm程隠れるように一緒に折
ります。③からカーブが逆になるので、
ボロが出ないように折り代に切り込み
を入れて④まで折り、襷糸で止めま
す。

【工程No63】 天狗ウエスト裏
まつり処理



※ ウエストベルト裏側折り返し部分②は、腰裏控え分
5mmを③に合わせます。本まつり縫いで④～③を止
め、同じく本まつり縫いで③～①を止めて完了です。

※ 天狗裏の折り代⑤から⑥の間は、折り代側に返して
身頃縫い代と千鳥縫いで止めます（まつり糸使用）。
この時、天狗裏側に糸が出ないようにして下さい。

メンズ技術大百科-ベーシックパンツ編- サンプルはいかがでしたでしょうか。

今回のサンプルでは、ソーイングのごく一部分のみの発表でしたが、本編では、パターン作成・ソーイング共に図をふんだんに取り入れ解説しています。

また、今回配布したサンプルは電子書籍版の一部分の抜粋ですが、全ての図は写真ではなく、一つ一つ線で描いていますので、拡大や縮小をしても図が荒くなりません。そのままのクオリティで拡大・縮小が可能です。

サンプルを見て、今の自分に本当に必要かどうかを良く考えた上で、もし必要であるならば、下記のサイトよりお買い求めください。

<http://www.encyclopedia.iguma.net/>

現時点で必要ない場合は、必要になったときに、またメンズ技術大百科を思い出してください。急に販売停止にしたりしません。いつまでもあなたをお待ちしております。

それではまた、本編でお会いしましょう。

井口 喜正

※【電子書籍のご購入を検討されている場合】

電子書籍版をご購入の場合、もちろんそのままパソコンを使用してメンズ技術大百科を活用して頂いても構いませんが、より素早いページ検索と情報の一元化の為、[印刷を推奨しています](#)（個人用途に限ります）。

例えば、印刷したページを別途購入したバインダー等に保存し、学習上気付いた事などを一緒にファイリングしておく大変便利です。また、メンズ技術大百科には、【〇〇ページ参照】などの記載も多いので、電子書籍と印刷したバインダーの両方を活用すれば、参照ページの確認も素早く行えます。

よって、もし上記のように活用したいとお考えの場合は、今回ご提供したサンプルがプリンターで綺麗に印刷できるかどうかをご確認ください。